



新見市男女共同参画情報紙

りぼん

vol.33
2022.2

さんかく

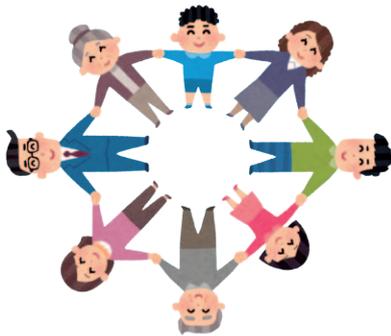
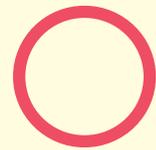


(参画)で

深まる^{きすな}絆

つむ 紡ぐ(縁)

えん



令和3年8月末に、前「りぼん」編集委員の任期が満了したことに伴い、新たなメンバーが加わりました。

そこで今回の「りぼん」では、「男女共同参画」について改めて考えてみることにし、新見市で長年にわたり男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいる「にいみフォーラム」のみなさんとの座談会を行い、いろいろなお話を伺いました。



にいみフォーラムのみなさん(右)との座談会の様子

にいみフォーラムからの出席者のみなさん



(中山さん)



(中川さん)



(八木さん)



(藤川さん)

にいみフォーラムの方
にお話を伺いました

にいみフォーラム：
りぼん編集委員 …

「家庭生活での協力」

石田

昔は、男性は台所に立たないのが普通だったというのを聞いたことがあるんですが、昔と今の違いって何かありますか？

中川さん

昔はね、男性はほとんど料理をしなかったんです。ところが今は、じいやと2人で暮らしてまうけど、私がしんどいところを、自分で冷蔵庫から食材を出してきて料理をしますよ。

多賀

ご主人も、昔は料理をされてなかったんですか？

中川さん

全然してないですよ。平成になつてから、ちよつと変わったのかな。時代が変わればね、自然とそれに慣れていくんだと思います。

石田

そつななんです。今はご主人も料理をしてくれるということですが、その方がいいですか？

中川さん

時にはね。私の苦勞も知つてほしい。(笑)

中山さん

昔は「男性は料理をしない」ということになっていたかもしれないけれど、今はそついうわけにもいかなからね。

多賀

私のところは、主人が料理や家事など率先して、やってくれるんです。けど、私の両親については、母親が料理を作って、父親は待っているというのをいまだに続けています。それはそれでうまくいって

るらしいですけどね…(笑)それを見てると、ちよつと嫌だなんて思ふこともありますね。

うちの主人はいろいろやってくれるから、ありがたいなつて思ふます。

それぞれのできることを考えて、お互いに協力して生活していけたらいいよね。



「子育てしやすい社会を！」

小川

男女共同参画について、日頃何か考えていることはありますか？

八木さん

子育ての時期に、女性が働きやすい社会にしていけないといけないなと思ふね。

中石

子育てしやすい環境を社会全体で考えていこうと思ふますね。

りぼん編集委員からの出席者



(石田)



(中石)



(多賀)



(小川)

新見市は「子ども・子育て支援事業計画」を策定して、安心してゆとりある子育てができるまちを目指し、いろいろな取組をしてるよ。仕事と生活の調和を図ることが大事だよね。



八木さん

そうですね。現状、子育てはお母さんへの負担が大きいいんじゃないかな。

小川

確かにそうかもしれませんね。

八木さん

だから、男性がもっと育児に参加しやすいように育児休暇の制度を充実させたり、保育所や放課後児童クラブなど、子どもを安心して預けられる施設をきちんと整備したりして、女性の負担を減らし、子どもを2人でも3人でも育てられる社会を目指すことが大事だと思うね。

【対等なパートナーとして】

中川さん

今の世の中、口に出して言わなくても、男女共同参画の意識がだいたい浸透してきているんじゃないかなと思うことがあるんです。

藤川さん

私たちは日頃からいろいろな取組をしているから、そう感じますね。若い人はどう思いますか？

中石

私からすると、例えば夜の会議とかはいまだに男性ばかり出席されてるといイメージがあるんです。

藤川さん

確かに、そういうイメージもありますね。

中石

女性は家で家庭のことをしないといけないから、出席できないのかなとか、出席しても肩身が狭いというか、意見を言いきくから

出席しないのかなとか考えることがありますし、そういうことは男性がやるもんだという意識があるのかなと思うことがあります。

藤川さん

地域にもよると思うんです。私の地域では、男性が女性を盛り上げてくれるんです。「やっちゃんねえことすな」とかわらずに、女性の意見を聞いて尊重してくれるんです。聞いてくれるんなら会議にも出ようかなって思うんですよ。

中山さん

男だからとか女だからとか考えずに、男女のへだてなく、支え合っていくことが大切だと思うな。

中石

そういった考えが、世の中にもっと広まってほしいなと思います。

性別による役割分担意識にとらわれないようにしたいよね。



【男女共同参画の推進に必要なことは?】

石田

最後に、これからさらに、男女共同参画の意識を広めていくためには、どんなことが必要だと思いますか?

中山さん

どのように他人と支え合っているかを考えること、つまり、支え合いの気持ちを醸成していくことが必要だと考えています。

そして、これから大きくなる子どもたちには、人の気持ちが分かる人間に成長してもらいたいと思います。

角立てず 共同参画 輪になって



座談会を終えて

りぼん編集委員

今回の座談会では、同性婚や選択的夫婦別姓などについても話が及びました。その中で、理想としては、一人ひとりが好きなように自由な選択ができる世の中になればいいという意見があった一方で、親の立場に立った時の「不安」や「とまどい」などの複雑な気持ちもお聞きすることができました。

世界的にも、性の多様性への理解を広めようという動きがある中で、今後は、LGBTQ（性の在り方は多様であるという考え方や性的マイノリティの人々のこと）についても考えていかないといけないかと考えさせられました。

今回のように幅広い年齢層で集まって話をするというのはなかなか無い機会でもあり、互いの考え方を知る有意義な場となりました。紙面の都合で、すべての内容は載せられませんが、懐かしい思い出話や時代の流れに対する複雑な気持ち、家族に対する思

いもたくさん聞くことができました。

昭和から平成、そして令和へと時代が移り変わる中で、地域や家族の在り方、性別の概念なども大きく変わってきたということが、座談会を通じて改めて感じられました。

ぜひ家族や友達、地域の方と一緒に読んでいただき、意見を交わすきっかけにいただけたらと思います。



「男女共同参画とは」

男女が、社会の対等なパートナーとして、自分の意思で社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、個人の能力に応じて均等に利益を受けることができ、共に責任を担うことです。

【にいみフォーラム】の紹介

昭和63年に発足した市内唯一の男女共同参画推進団体で、セミナーの開催や出前講座の実施、市内での啓発活動などいろいろな取組を行っています。研修旅行や交流会などの行事も企画していますので、興味のある方の入会をお待ちしています。

(問い合わせ先) 男女共同参画プラザ（新見公民館3階）
毎週水・木・金曜日（祝日・年末年始を除く）
午前9時15分～午後5時15分
事務局：0867-72-6159

ご興味のある方は
お問い合わせください。

